

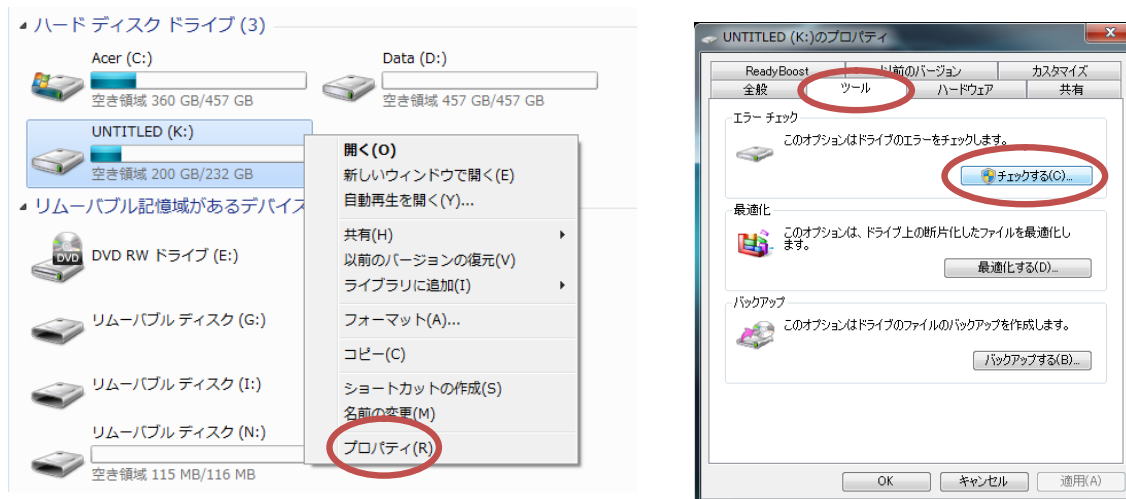
RockDisk のディスク空き領域回復手順

Windows7で RockDisk をSMB 共有サービスで利用時、データコピー中に作業をキャンセルしてもディスク容量が減ってしまう問題の容量回復手順をご説明します。(本作業は上記問題に該当する方のみ必要な作業となります)

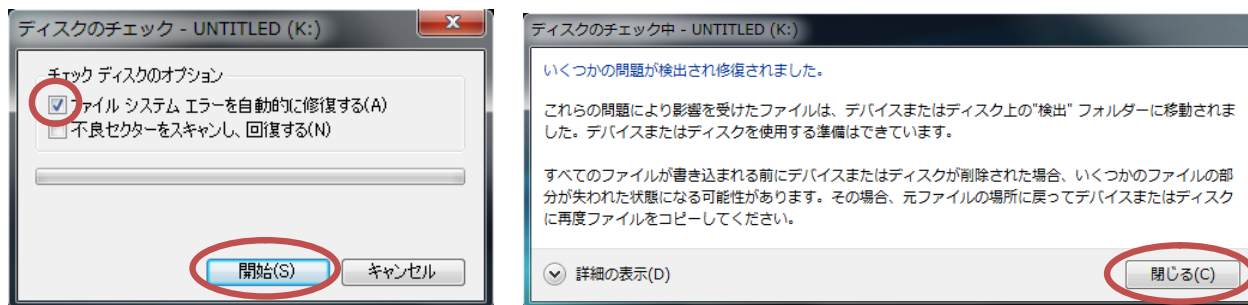
【1】RockDisk を USB 接続しドライブのエラーをチェックする

RockDisk を USB ケーブルでパソコンに接続してください。USB 接続ハードディスクとして Windows に接続されたら「コンピューター」を開き、RockDisk のドライブを選択して右クリックし「プロパティ」を選択してください。(左下図)

ハードディスクのプロパティ (右下図) が開いたら「ツール」タブを選択し、エラーチェックの「チェックする」をクリックしてください。



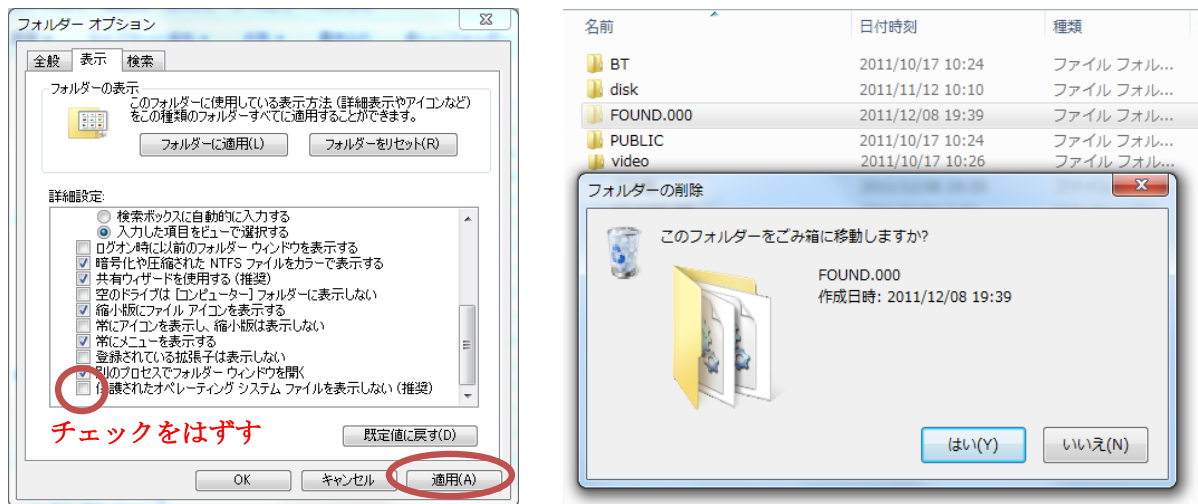
クリックすると「ディスクのチェック」が表示されます。「ファイルシステムエラーを自動的に回復する(A)」にチェックが入っている事を確認して、「開始」をクリックしてください。(左下図) チェックが完了すると (右下図) のような表示が表示されますので「閉じる」をクリックしてください。(問題が発生していない場合は問題が検出されません)



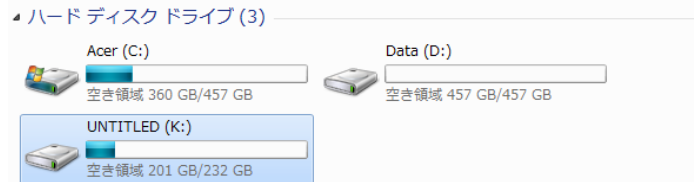
※ディスクのチェックには時間がかかる場合があります。終了までお待ちください。

【2】不要なファイルを削除し容量を回復する

再び「コンピューター」を開き、「ツール」→「フォルダーオプション」を開いてください。フォルダーオプションが表示されたら「表示」を選択して、詳細設定の一番下にある「保護されたオペレーションシステムファイルを表示しない（推奨）」のチェックをはずして適用してください。チェックをはずしたら RockDisk のドライブを開きます。「FOUND.000」（000 の値は変動）というフォルダが表示されるようになりますので、フォルダを削除してください。普通に削除してゴミ箱を空にするか、または「FOUND.000」選択状態で SHIFT+DEL を押す事で完全に削除することができます。



作業が完了したら「コンピューター」で空き領域をご確認ください。増えていれば成功です。



作業完了後「フォルダーオプション」の「保護されたオペレーションシステムファイルを表示しない（推奨）」のチェックを元に戻して「適用」してください。

